

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2014年3月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2014年3月1日発行 通巻251号(毎月1回発行)

総会決議を

全会員で実行しよう

3月号 目次

・目次	2
・花博士の花便り	3
・関東ブロック救助隊交流集会報告	4
・ハイキング委員会リレーエッセー	6
・会山行報告「赤城山」	8
・会山行報告「影信山。餅つき山行」	10
・会10周年記念登山	12
・全国連盟総会報告	13
・全国連盟・メールニュース紹介	14
・3月県連便り	15
・3月・4月予定表	16

表紙説明

2月22日・23日、関東ブロック救助隊交流集会が「土合山の家」で実施された。1年間準備の成果を発揮し無事終了した。
千葉県連から20名が参加して、しっかり、おもてなしをしました。

2014年度（第48期）

2015年度（第49期）千葉県連盟定時総会 について

3月2日（日）13時より、千葉県総合スポーツセンターにおいて19会の代表が参加して開催されました。

総会の詳細は「ちばニュース4月号・総会特集」に掲載する予定です。総会に出席した人、しなかった人も「感想」「意見」「要望」などをお寄せください。また、普段から県連に「一言」と思っている人も、この際に「苦言」「提言」をお寄せください。

連絡先： 千葉県ホームページ・事務局への問い合わせ

： 千葉県連 会長 広木国昭 danphiro@zpost.plala.jp

花博士の花便り 3月号

ふわくハイキングサークル 中原 紀代治

2月は大雪で咲きかけた梅の木などが雪の重みで折れる被害がありました。

コセリバオウレン キンボウゲ科オウレン属

3月に咲く花にスハマソウがありますが、一緒に良く観られるのがコセリバオウレンです。

オウレンの中で、セリバオウレン（葉がセリに似る）やキクバオウレン（菊の葉に似る）は、薬草として根茎を切り取り乾燥して、下痢、中風、健胃、整腸、ただれ目などに、が使われました。

キクバオウレンは、新潟の角田山にミスミソウを観に行った時に国上山で群生有りました。

千葉で咲くのが、コセリバオウレンで10cmくらいの小さな白い花で良く見ると両性花と雄花が観えます。小さいため漢方には利用されないそうです。高原や深山で咲く、五枚葉のバイカオウレンや夏の高山で3枚葉の小さな綺麗な花のミツバオウレンがあります。花や葉の形で見分けられます。この時期に千葉の山で見る木の花は、アセビ、ヤシキミ、ミヤマシキミです。

アセビ（馬酔木） ツツジ科アセビ属 アセビは、清澄山系で見かけますが、馬が酔う木と書くように有毒植物です。ドウダンツツジの花に似てるのでツツジの仲間です、昔は武士や木こりが馬を山で利用しましたが馬がアセビを食べたかどうか知りません。清澄山でニホンジカが食べないので目立ちます。花は葉の上部に咲きピンクの花は綺麗で庭木で植えられます。

今月の巨木 「清澄寺の千年杉」

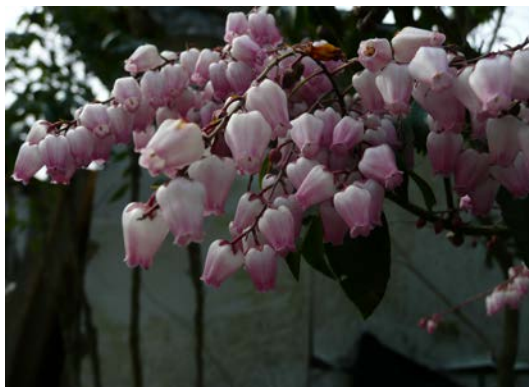
千葉では清澄寺の千年杉これに勝る杉はないです、幹回り14m以上樹高が47m有ります。



コセリバオウレン



キクバオウレン



アセビ（馬酔木）



「清澄寺の千年杉」

1. いきさつ

2013年度 関東ブロック救助隊交流集会が2／22（土曜）、23（日曜）に土合山の家で行われた。今年は千葉県連救助隊が主催で、1年前から準備に着手した。当日は関東ブロックの各県連盟救助隊から、50名強が参加した。集会・訓練内容も充実しており、参加者の方々は満足のいく交流集会であったと思う。

2. 実施スケジュール

主催者である千葉県連救助隊員は、前夜に現地入りし、最終ミーティングを行った。初日は、2週連続の大雪もあり関越道が早朝から渋滞し、2時間半遅れて開始した。

【22日】

- 13:00～ 開催の挨拶、オリエンテーション
- 13:05～ 全国連 遭難事故状況について（全国連盟・事務局長）
- 14:25～ 千葉県連救助隊活動について（千葉県連盟・救助隊隊長）
- 15:25～ ヒトココ（遭難捜索装置）について（製造会社・担当者）
- 19:30～ 各県連救助隊の活動報告会・懇親会

【23日】

- 8:30～ ヒトココ（遭難捜索装置）を使った実地捜索訓練
- 11:30～ 訓練終了、昼食
- 12:30～ 反省会、閉会

3. 交流集会内容について

【22日】

（1） 全国連 遭難事故状況について

山岳遭難発生は年々増加している。山岳遭難の7割は登山。山岳遭難の原因の7割は道迷い・滑落・転落の順。年齢層別では60歳以上で半数を占める。依然として中高年の山岳遭難者の事故率は高い。

（2） 千葉県連救助隊活動について

救助されないよう、登山技術のスタンダード化による技術レベルの維持・向上という普及活動を努めることで登山者の遭

難・事故発生の予防に重点をおいている。

懸垂下降のスタンダード化による効果が表れていることを強調した。また、空中撮影機 Phantom を使って上空からの撮影映像を使い、遭難者を捜索する新しい提案を紹介した。このような空中撮影機による捜索は近い将来、救助隊の武器になると考える。



懸垂下降のスタンダード化



Phantom

(3) 各県連救助隊の活動報告会・懇親会

活発な意見交換がなされた。来年度幹事の神奈川県連救助隊の活動報告において、救助隊の役割が問われているとのことで、今後の活動方針が注目される。

【23日】

あらかじめ、土合山の家の周辺に埋めた、ヒトココの子機5機を探索する実地搜索



ヒトココによる搜索訓練

訓練を行った。搜索者はヒトココ親機で距離と方向を見ながら子機を探索する。200mとか300m離れた地点から子機を発見できることは素晴らしいし、なんといっても心強い。近距離モードに入ると、距離と方向の表示だけでなく子機の電波強度を見ながら探索することで子機に最接近出来る事を実感した。ビーコンに比べてピンポイント探索で手間取るため、積雪期の登山であれば雪崩ビーコンと併用することで、ヒトココの短所と雪崩ビーコンの短所

をお互いに補えられ、併用するのが良いと感じた。

4. 交流集会を終えて

救助隊の先輩方の段取りの良さが全てであり、今回の関東ブロック救助隊交流集会は大成功であったと思います。個人的には、懇親会で参加者と十分な交流・意見交換ができるよう、ハイグレード登山へのチャレンジと山行回数を増やしたいとの思いが強くなった。

◆ ヒトココ（遭難搜索装置）について

今回の講習会の目玉である。メーカーが商品紹介・開発目的・搜索原理などを簡潔に紹介。既存の雪崩ビーコンの代替品とした限られた季節・領域ではなく、もっと幅広い様々な用途で使われることを前提としている。ヒトココの特徴は非常に軽量かつコンパクトで、また電池の寿命が長く（子機3ヶ月・親機6ヶ月）、電波飛距離が広いこと（雪崩ビーコンは50m以内であるが、ヒトココは見通しのある地上で数百m以内、



ヒトココ（親機）

上空からは5km以内）で、さらに複数の人がそれぞれ異なるIDのヒトココを持っていれば、特定の人をピンポイントに探索できる、という特徴を持つ。すなわち、どちらかと言えば雪山限定ではなく、オールシーズンで携行するビーコンであるという使い方であり、入山開始から常時電源を入れっぱなしで携行することで万が一遭難した場合に見つけ出される確率が高くなり、ヒトココの利用価値はグンと上がるのではないだろうか。

山で出会ったうれしい友達

(岳人あびこ 菊地 功)

山に登る楽しみはいろいろありますが、その一つに自然に会える楽しみがあります。登山を始めた頃の頃、初めて見たコマクサとライチョウは、強く印象に残っています。

そして近年では次の3件が大感激でした。

1件目は、日光・大真名子山で見たノスリです。山頂で一人で昼食をとっていると、遥か下の光徳牧場辺をトンビが1羽滑空していました。ボケ〜っと見てみると、だんだん上昇してきました。そして真上に来たので見上げてビックリ。見慣れたトンビとは違って、全体に白っぽく、羽の先端が黒いのです。喜んで見てみると、また下降を始め、大真名子山の右手下の小峯に消えました。そして再び現れた時には2羽となっていました。2羽はずんずん上昇し、私の真上に来て、なんとじゃれ合ったのです。つがいなののでしょうか、体をぶつけ合って、バサバサ・バサバサと羽音が聞こえ、大感激でした。しばらくすると、出てきた小峰の方へ降りてゆきました。自宅に帰って図鑑で調べたら、どうもノスリだったようです。

2件目は、吾妻連峰・鎌沼で出会った鴨の親子です。東吾妻山を登り、一切経山へ向かう途中、鎌沼のベンチで昼食をとることになりました。沼の沖合に点のようではありましたが野鳥の群れが見えるのに気づき、「お〜い、お〜い」と言いながら手を叩きました。そうしたら、ナント、こちらへ向かって泳ぎ始めたのです。親子のようで、親のスピードに付いて来れない子供は羽をバタバタとさせ、湖面を走るように、飛ぶように近づいてきました。一度、湖畔のブッシュの陰に消えて、藪の中から1羽の母鴨と7羽の小鴨がドドッと私たちの足元に出てきました。お昼の食べこぼしを探しているのでしょうか、私達の足元を「グワッ、グワッ」と賑やかに、忙しく歩き回っておりまして。しばらく経つと、親鳥の「グワッ」という一極大きな声で、みんな一斉に出てきた藪へ消えました。そして、湖面に出て、「グワッ、グワッ」と賑やかに泳ぎ去りました。

3件目は会津駒ヶ岳で出会ったオコジョです。前日、駒の小屋に泊り、荷物はデポし、軽装で日の出前から会津駒山頂を目指しました。ご存知と思いますが、山頂近くになると木道となります。晴天で、その木道から朝日に浮かぶ燧ヶ岳などを眺めていた時、一人が「あれっ、リスかなんかがいる」と言いました。振り返って見ると、リスのようなネズミのような小動物が木道の上へ現れたり、下に隠れたりしています。どうもオコジョのようです。その後、彼女(?)は付かず、離れず山頂までついてきました。山頂では2mくらいまで近づいてきたので、写真を撮ったのですが、バカカメラがフラッシュをたいてしまい、彼女はサッと逃げてしまいました。その後、現れてはくれませんでした。

この3件は本当に楽しい思い出となっています。さあ、今度はなにに会えるかな！



千葉県連盟 50周年記念行事について

3月2日（日）の県連盟総会において、2016年に創立50周年記念行事の実施が承認された。詳細は実行委員会を立ち上げて取り組む事が決定した。

千葉県連盟の現状は、20会768名が参加し、全会から選出された理事を中心に、8つの委員会の活動が県連盟を動かしている。

これらの活動は、加盟会・クラブの活動、県連盟への参加・協力が無ければ維持・発展する事は出来ない。

多くの会員の皆さんと共に、50周年を祝い今日までの活動を評価し、後世に伝えて行く責任を果たす。

具体的な実施事項について

- ・50周年記念実行委員会

創立以来の会員、これからの県連を担っていく会員を中心に立ち上げる。

- ・県連盟の主要な活動を「50周年のあゆみ」（仮題）としてまとめる。
- ・千葉県の山、沢、について、各会の協力、資料の提供をお願いする。
- ・県連盟の自然保護運動を、後世に伝える資料としてまとめる。
- ・全会・会員の参加の記念イベントを、房総の自然の中で実施する。

会山行報告

赤城山（黒檜山）

松戸山の会 平野 健

- ・ 日時;2014 年 1 月 18 日
- ・ メンバー;CL 米田 SL 甲田 石塚 菊池 大越 北村 林 板谷 山田 水谷 平野 (記)
- ・ コース;松戸市民劇場前 (06:00)=三郷南 IC 圏央道=関越自動車道前橋 IC=赤城山 (9:30) 檜山登山口 (9:30)-(11:15) 黒檜山 (11:20)-(12:20) 駒ヶ岳 (12:30)-(13:30) 駒ヶ岳登山口-黒檜山登山口 (13:50)

赤城山（初めての雪山登山）

6:00 松戸市民劇場前に全員集合。この日の朝は、冬らしい、キリっとした冷たい風が吹いていました。今回は2台の車で出発。米田さん・甲田さんの車です。

Yさんの車に、私を含め6名、Kさんの車に5名乗車しました。

出発したと同時に、車内は世間話で盛り上がりました。山の話, 食べ物の話, 仕事の話, etc…。少し渋滞に引っかかりましたが、前橋 IC を降りた近くのコンビニで休憩。その後、赤城山に向かいました。

10:35 黒檜山登山口駐車場到着。気温は-5℃。路面凍結している所がありましたが、米田さん甲田さんの素晴らしい運転技術でクリアしていきました。車を降りて登山の準備を開始。その後、米田さんがピッケルの使い方を説明してくれました。とてもわかりやすかったです。

準備が整い、登山が始まりました。アイゼンを靴に装着して道路を歩く度、「カリカリ」と乾いた金属音が響き渡り、心地よかったです。駐車場から歩いておよそ 10 分で登山口に到着。積雪量はおおよそ 50 センチ。サラサラした雪で、スキーをしやすい環境でした。雪山登山は初めての経験。少し緊張しながら登りました。

登山をしてすぐわかったのが、アイゼンの効果です。私は6本の軽アイゼンでしたが、地面にしっかりささり、安心して登山する事ができました。12本のアイゼンは爪先やかかとも、鷲の爪の様な鋭利な爪が装備されているので、下山をするときはとても有効だと実感。気温も低いこともあって、顔に刺さるような冷たい風が吹き、その度に負ないぞという気持ちになりました。

11:40 この調子で皆さんのペースに合わせて登っていたら、さほど苦労する事なく黒檜山頂上に到着。雪山頂上からの眺めはとても素晴らしく、また登りたいと思わせてくれるキレイな眺めでした。

小休憩をとり、再び出発。積雪量もほとんど変わらず、順調にかつスムーズに進みました。登山中に気づいたのですが、登山には「リズム」があるということです。リズムをつかんだので、楽しく登山ができました。

12:25 駒ヶ岳到着。こちら眺めが素晴らしかったです。ここで小休憩をとり、下山しました。

13:00 駒ヶ岳登山口到着。車に乗って帰りました。

帰り道の途中、Y氏おすすめの牛スジ屋にて焼き肉を食べました。登山後だったので、とてもおいしかったです。

今回の赤城山は、雪山初心者の私でもそんなに苦労する事無くとても楽しく登山する事ができました。



会山行報告

餅つき山行 景信山

松戸山の会 具志堅 浩俊

山行日 2014年1月11日(土)

コース 参加者全メンバー 小仏 8:45ー景信茶屋 10:00ー餅つき山ー11:35

L 菊地 太田 石川 竹内 山田 細谷

景信山山頂 11:45ー明王峠 13:00/10ー陣馬山 13:50/14:20ー和田 15:30

バス 15:40ー藤野駅 16:00

L 西村 吉田 大越 加藤 北村 鈴木知 古軸 渡辺桂 佐藤み 保坂

景信山山頂 11:45ー明王峠 13:00/10ー陣馬山 13:50/14:10ー

陣馬高原下 15:15/25 - バスー高尾駅 16:25

L 今村 斎藤剛 小林 日下 福井 長谷 堀井 水谷 具志堅 木村 渡辺正 松村

景信山山頂 11:45ー城山 12:30/42ー高尾山 12:59ー薬王院 13:40ー

京王高尾山口 14:59

費用 合計 18,202 円



ヒーロー 大越

具志堅 浩俊

景信山・餅つき山行に参加しました。山での餅つきは初めてで、多くの人数がいないと出来ないイベントですよね。山の会ならではの力強さ、チームワークの良さに感動しました。景信茶屋には大勢の登山者がいましたが、新年らし

さを醸し出す企画に、「すごいね！」と写真に収める人などもいて、羨望の的になっていました。

沖縄では正月に餅つきをする習わしはありませんが、餅はあります。しかし作り方が異なります。まず米を石臼で挽いて粉にし（最近はおもち粉を使用）、水で粘土状にして形を作り、それを蒸し上げるのです。団子の作り方に似ていますが、熱湯で煮るところがちがいます。



そんなわけで、餅つきはほとんど経験がないけれど、私も一度だけ杵を持ったのですが、勇壮さがぜんぜん足りませんでした。10人ほどの方が杵を振ったのですが、何ととっても圧巻は大越さんです。杵を持ったとたんに、何かに憑かれたかのようにズッコン、バッコンと杵を打ち下ろし、そ

の強さ速さは臼も割れんばかり。「今日のヒーローは大越さんだね！」との声も出て、皆の喝さいを浴びました。

山行に歳時を組み込むというのは面白いですね。お餅やお新香もとても美味しく、素晴らしい新年のスタートができました。来年も必ず参加します。



私たちの餅つきスタイルはいかがですか？大越先生

ちばニュースに、あなたの会山行を投稿して下さい。

毎号、山行に関する記事を掲載したいと思います。仲間との楽しい山行を県連盟の仲間に紹介して下さい。

投稿フォーム；A—4・1，2ページ 余白 上下左右 25mm

：明朝 12mm でおねが愛します。

(会報「いわひばり」2013年11月号に投稿されたものを一部抜粋し紹介します)

- ・ 本年はシリウス10周年にあたり、栗駒山への記念山行となった。当初予定のコースは強風と濃霧に阻まれて歩く事は出来なかったが、メンバーの多くが参加して懇談が出来た事は良かったと思う。(K・Y)
- ・ 山仲間はいいなあ、前夜の宴会はとても楽しくはじけました。仕事、仕事の毎日ですが、こうして仕事以外の仲間がいることで、とても豊かな気持ちになれます。シリウスの皆さんは私にとって、大切な宝物だと改めて感じた2日間でした。(T・H)
- ・ 一緒に時間を過ごして、絆を感じる事が出来ました。栗駒は前回も登れなかった山です。次を目指して、リハビリ、々。三年前に長女と孫達が近くの栗駒自然学校に暫くお世話になり、くりこま荘までチビを抱いて歩き話しが弾みました。(S・Y)
- ・ 駒の湯跡には山崩れのすごさを実感した。以前にこの出来事、2008年(平成20年)6月14日(土)岩手・宮城内陸地震を下地にした小説・熊谷達也(宮城県出身)の“光降る丘”をたまたま読んでいた。ああ、ここだったのかと思った。碑に向かって合掌した。(T・S)
- ・ 今は廃線となった故郷の栗原電鉄、終点の細倉駅から登ったテント山行栗駒山は高校2年の夏休みだったと思う。田んぼの畦道から見る栗駒、小学校に通う道から見える桜並木と栗駒、そして雪を頂く栗駒と当たり前のように故郷の山はそこにあった。(Y・S)
- ・ 早いもので、シリウスに入って4年になろうとしています。独りで歩いていたら、多分東北の山に登ることはなかったでしょう。それが、縁あって栗駒山には2度も行き、くりこま荘の美味しい郷土料理を2度味わうことが出来ました。今回も雲霧の流れの速さに声をあげ、東北の広い空と広い大地はくっ付いている、と前回と全く同じ事を思いました。忘年山行では楽しい女子会ができるかな？(K・T)
- ・ 「世界谷地」という湿原、草紅葉、ブナ林の散策も最高。途中下山になりましたが、温泉に入り美味しい料理、お酒、おしゃべりしながら、二日間皆さんとご一緒にとても良かったです。(T・T)
- ・ 今回は天気恵まれなかったけど、宿は良かった。特に料理、1品1品丁寧でこれぞ山の宿の料理って感じ全開で。料理で印象に残るお宿だったな。お土産に買った7個350円のりんごは小ぶりながら酸味と甘みが強く生でも美味しかったけど、ジャムにしたら砂糖をほとんど入れなくても濃厚な味のりんごジャムができた。あれ？山より食べ物話になってしまった。(J・Y)
- ・ 今年の2月に入会した時に、10周年記念山行を10月に予定していると言われて、やったあ！念願だった錦に染まる栗駒山に登れると、楽しみにしていました。夕食の後でクラシックプレーヤーの前で立ち止まりLP盤から流れるミュージカルの名曲を口ずさんだのも思い出になりそうです。(Y・N)
- ・ 宿のロビーでレコードが聴けたこと、針を伝って流れる懐かしい音色は往年の名画シェーンの主題歌「遙かなる山の呼び声」等々。聞き入る方々と、セピア色の思い出を語り合って、静かな時間が流れました。会は10年経って会員も約半数になりましたが、今でも仲間と歩き続けられるのは幸せなことです。1人では決して歩けなかったでしょう。これからも創意工夫を重ねて、細く長く歩き続けたいですね。(K・S)

全国連盟 第31回総会報告

全国理事 広木 国昭 (ちば山の会)

- ・ 日時・場所 2014年2月15日(土) 16日(日)
- ・ 場 所 晴海グランドホテル
- ・ 千葉県連代議員 鶴田 副理事長 (ちば山の会)
小宮 組織部員 (ふわくハイキングサークル)
戸石 県連理事 (千葉民医連 山を歩こう会)
- ・ 傍聴者 広木 愛子 (ちば山の会)
- ・ 議 事
 - ・ 1号議案 第30期下期活動報告 第31期上期活動方針
 - ・ 2号議案 「個人会員制度」導入に伴う規約改正
 - ・ 3号議案 「組織基本問題調査会」の中間報告
 - ・ 4号議案 労山新特別基金の規定と細則の改訂
 - ・ 5号議案 第30期の財政活動総括と第31期の財政方針・予算
 - ・ 6号議案 全国連盟役員の選出
- ・ 討論の争点
 - ・ 会員数 2013年11月末 641団体 20,426名
(前年より、46名減)
 - ・ 個人会員数 2014年2月8日(制度スタート2年5か月)
正会員 161名 ・ 準会員 43名

今総会の争点は、個人会員制度をどうするかであった。増えない理由、今後の方針が明確でないとの指摘が多く出された。また、現状を打開する有効な方針が提案されない現状では、個人会員制度を辞めるべきとの意見が出された。さらに、個人会員制度導入に関連して提案された、規約改正案は否決された。(個人会員制度が一定の会員数を獲得し、運営が軌道にのった時点で再提案し討議する事になるでしょう)

個人会員制度導入については、最初に提案された時から根強い反対意見が出された。これは、従来の組織に新たな組織を導入する事に対する根本問題が一致してない事。その事に加えて、50年の歴史の中での様々な意見の不一致・対立の後遺症？が加わりより複雑になっている。その中にいる人には気が付かない事なのかも知れない。いずれにしても、労山が組織活動をして来なかった事、その組織の弱点が表面に出たと思う。

- ・ 千葉県連・選出役員
全国理事 広木 国昭・岡田 賢一
新特別基金運営委員 鶴田 秀雄

他の議事の詳細については、機会をとらえて報告したい。

全国連盟よりのお知らせ

全国連盟・メディア局は、新しい情報紙として「メールニュース」を配信します。

これは、従来のナマステメールに代るもので、全国連盟からの情報を会員の皆様に発信する、新たな形のメールニュースです。

ナマステメールへの登録には、千葉県連盟からも多くの会員の皆様の協力をいただきました。しかし、十分な成果を確認出来ない現状を打破し、新しい情報提供を実行して行くことになりました。

ナマステメールは、登録者に対して全国連盟より一方通行で配信されるものでした。今回実施する「メールニュース」は全国連盟・メディア局が窓口です。意見などは jwaf@jwaf.jp にお送りください。

(または、千葉県連盟ホームページ：事務局への問い合わせまでお寄せください)

次のように送られてきます。

労山全国連盟 メールニュース

発行：日本勤労者山岳連盟 メディア局

従来からのナマステ・メールニュースに代わって、

(なお、本ニュースはパソコンでの閲覧を前提に作成しています。)

労山活動へのご尽力、ご苦労さまです。

今年2月15日～16日には日本勤労者山岳連盟第31回総会が開催されました。関東地方を中心に記録的な大雪となり、交通機関がストップして出席を予定していた8地方連盟が急遽欠席となる中、29の地方連盟から57名の代議員が出席しました。他に委任状14通が提出され、正副会長、役員、事務局、傍聴者など全体では約100名の参加で、大雪を融かす熱い議論が繰り広げられました。

全国連盟機関誌・登山時報 10円値上げ！！

全国連盟は、消費税率引き上げにともなう購読料を1冊10円の値上げを提案しました。現行1か月300円を2014年5月号から310円となります。

この改訂により、団体購読料の全国納入額は260円となります。

従来の250円が10円値上げとなります。

ここにも、消費税値上げの影響があります。せめて、組織の機関誌位は組織努力で値上げを回避してほしかったで～～～すネー。

団体購読とは？：各会・クラブとしてまとめて、一括購読している場合です。

県連たより

県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX: 043-306-1190
Eメール: rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR 総武線幕張本郷下車、海側 徒歩 5 分
(県連事務所に常駐者はいません)

- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまで

- ◎ 事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax: 043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。

- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp

- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟

- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号: ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名: NPO 法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治

- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、ご意見
問い合わせなどは・広木まで

NPO 法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページから
入会出来ます。
 - ・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
 - ・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>

- ・入会情報 (2 月末)
 - 正会員数 108 名
 - 賛助会員数 127 名
 - 合計 235 名常時、会員を募集しています。
入会連絡は、上記アドレスまで!

新年度の NPO「ゆう」支援活動の
お知らせ

- ・ 4 月 12 日 (土) ・ 13 日 (日)
に実施します。

支援物資は常時販売中です。
下記アドレスに連絡を!

三陸・気仙沼直送の支援物資は
支援物資担当・広木までどうぞ

「おさしみわかめ」

「さしみこんぶ」

「くきわかめ」

「すき昆布」

「とろろこんぶ」

常時在庫あり、宅配相談下さい

danphiro@zpost.plala.or.jp

090-8316-2020

県 連 活 動 予 定 表

3 月	行事予定	4 月	行事予定
1 土		1 火	役員会
2 日	県連総会（県スポーツセンター）	2 水	
3 月		3 木	
4 火	役員会	4 金	
5 水		5 土	
6 木		6 日	
7 金		7 月	
8 土		8 火	
9 日		9 水	
10 月		10 木	
11 火		11 金	
12 水		12 土	NPO支援活動
13 木		13 日	〃
14 金		14 月	
15 土	NPO支援活動	15 火	
16 日	〃	16 水	
17 月		17 木	県連理事会
18 火		18 金	
19 水		19 土	
20 木	県連理事会	20 日	
21 金		21 月	
22 土		22 火	
23 日		23 水	
24 月		24 木	NPO総会 西部公民館 19時
25 火		25 金	
26 水		26 土	
27 木		27 日	
28 金		28 月	
29 土		29 火	
30 日		30 水	
31 月	NPO役員会		

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190（事務所には常駐者はいません）

発行責任者：吉田 哲治 編集責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ